

- 区議会各会派
新年のあいさつ …… 2~3面
- 平成22年度上半期 政務調査費と
議長交際費の支出状況 …… 4面
- 平成22年度下半期
他都市からの視察・訪問 …… 4面
- 区政のここを問う!
定例会での代表・一般質問
…… 5~7面
- 委員会の活動状況 …… 8面
- 請願・陳情の審査結果 …… 8面

新宿区議会だより

発行：新宿区議会

☎ (3209)1111(代表) 〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
ホームページアドレス: <http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html>

No. 248

平成23年(2011年)1月1日発行

あけましておめでとうございます



新宿御苑 日本庭園

新年の
ごあいさつ



新宿区議会議員
深沢としさだ

あけましておめでとうございます。区民の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、記録的な猛暑やゲリラ豪雨の多発など自然の脅威を実感する一年でございました。今年は、是非とも穏やかであって欲しいと心底から願ってやみません。

さて、区政に目を転じますと、昨年は区民・議会・行政の三者が協働して検討を進めてきました「新宿区自治基本条例」が第三回定例会において可決・成立し、本年四月一日から施行されます。

これを契機に、新宿区における新たな自治の実現を目指して区民の皆様や昨年十一月の選挙で再選された中山区長とも力を合わせて、邁進する所存でございます。

本年は、区議会議員の選挙が行われる年に当たります。区民の皆様の声に真摯に耳を傾け、より一層の開かれた議会を目指します。

また、山積する区政の諸課題に的確に取り組むため、議員一人ひとりが政策形成能力の向上に努め、信頼と負託に応えるべく、切磋琢磨して参ります。

年頭にあたり、区民の皆様のご多幸を心よりお祈りし、併せて区議会へのご理解、ご支援をお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

トップニュース

今定例会で可決した 議案

中高層建築物の紛争予防に「近隣関係住民」の範囲を拡大する条例改正などを可決

今定例会では、区長提出と議員提出あわせて39件の議案が可決されました。

- 区内における創業、経営改革支援のため、区立高田馬場創業支援センターを設置し、その管理を指定管理者に行わせる。
(平成23年10月1日施行 高田馬場1-32-10)
- 子どもの生活環境の維持に、中高層建築物の建築により影響を受ける一定の範囲に、幼稚園・学校・保育所・子ども園等があった場合、その施設に通う子どもの保護者も「近隣関係住民」の対象とする。
(平成23年4月1日施行)
- 新たに子ども園を設置する。(平成23年4月1日開設)
 - ・西新宿子ども園 (西新宿保育園と西新宿幼稚園を統合 幼稚園跡地に新築 西新宿4-35-5)
 - ・柏木子ども園 (北新宿第一保育園と柏木幼稚園を統合 両園舎を活用する分園方式 北新宿2-3-7、北新宿2-11-1) ……関連記事4面

新宿区長に中山弘子氏



3期目の当選を果たし、11月24日の本会議にて所信表明する中山区長

文科科学省は、8月義務教育の職員定数計画として、段階的に8年かけて小学1・2年生は30人学級、小学3年~中学3年までを35人学級にする公表しました。来年度予算を文科科学省は特別枠の「政策コンテスト」で要求していますが、少人数学級の実現は喫緊の課題であり、国会及び政府に確実な予算措置を求めました。

少人数学級の実施のための確実な予算措置を求める意見書

HTLV-1は致死率の高い「成人T細胞白血病(ATL)」などを引き起こします。感染者数は100万人以上と推定され、治療法は確立されていません。主に母乳を介しての母子感染が6割以上を占めます。平成22年10月厚生労働省は、HTLV-1抗体検査を妊婦健康診査の検査として公費負担としました。これにより実施される感染拡大防止対策に伴う「HTLV-1総合対策」推進のため、①医療関係者や地域保健担当者への研修②母子感染対策協議会を全都道府県に設置して検査、保健指導する体制の整備③相談支援センターの設置④診療拠点病院の整備⑤予防・治療の研究開発⑥国民への知識普及等⑦発症者への支援、福祉対策を早急に実現するよう国会及び政府に強く求めました。

今定例会で
議決した
意見書 (要旨)

意見書の全文は区議会ホームページをご覧頂くか、議会事務局までご連絡ください。

ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1) 総合対策を求める意見書



無形民俗文化財戸塚囃子



新宿御苑日本庭園



副幹事長
小野 きみ子 5期
〒161-0033
下落合4-9-17
(5982)3050

幹事長
志田 雄一郎 3期
〒160-0007
荒木町10-17
サンライズビル203
(3355)0546

幹事長
久保 合介 11期
〒162-0825
神楽坂6-16
(3260)0669



副幹事長
平間 しのぶ 1期
〒169-0073
百人町2-5-1
エクセルシオール
新宿西戸山602
(3365)0103

おのけん一郎 1期
〒162-0056
春松町28-1
シャンクワ
早稲田503
(3208)4633

すえき 亮 1期
〒161-0033
下落合3-7-11
(3954)0365

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年は、尖閣沖での中国漁船による衝突、露大統領の北方領土初訪問、北朝鮮の韓国初陸地砲撃と、「非戦憲法」の日本にとって黙視できない外交上の脅威が続発しました。報道は徒に危機を煽るだけ、なぜ友好・平和を築く視点で世論を導かないのか？
二〇一〇年一月二十六日、

民主党新宿区議会議員団

友好・平和は身近な人間愛から
区政も区民と心が通う施策から

IR新大久保駅で日本人を助けるために韓国青年イ・スヒョンさんは命を落としました。あれから十年、来る二月二十八日四谷区民ホールで、新宿区が後援してのチャリティコンサート「アジアの風になつて」―彼の夢だった。未来の日本との架け橋―に皆様のご来場を！
私たちは、本年も心の通う区政に励みます。

各会派あいさつ

新年を迎えて

区民起点でさらなる改革を推進し
区政運営に取り組んでまいります

新宿区議会公明党



副幹事長
くまがい 澄子 4期
〒169-0071
戸塚町1-102
(3203)1892

幹事長
とよしま 正雄 6期
〒160-0015
大京町5
(3353)8812

幹事長
小畑 通夫 7期
〒169-0072
大久保2-29-3
(3209)3409

副幹事長
鈴木 ゆきえ 3期
〒160-0022
新宿1-6-8
(3354)2730

幹事長
有馬としろう 2期
〒161-0032
中落合2-12-26
グランドコート
中落合101
(3952)8354



野もとあきとし 1期
〒169-0073
百人町3-8-14
篠田方
(3368)5035

中村しんいち 1期
〒169-0072
大久保2-20-502
(3202)1474

赤羽 つや子 3期
〒161-0032
中落合1-21-3
(3366)0164

小松 政子 3期
〒162-0824
堀場町2-12-208
(3267)5113

新年明けましておめでとう
ございます。
依然として厳しい社会経済状況や雇用情勢のなか、区民の皆様が暮らしを守り支えるため、今まで以上に安定した財政運営の確保が求められます。
まさに時代は転換期にあり、国も地方も今までの制度の仕組みでは持続することができなくなっております。

このような状況の中にあつて、生活に最も近い区政として議員の果たすべき役割がますます重要であり、「区議会公明党」としても、「この一年、行政改革を更に推進し、増大する行政需要に応えていくための区政運営に、区民起点で全力で取り組んで参ります。

新宿区民として誇れる
まちづくりを目指します

自由民主党新宿区議会議員団



副幹事長
宮坂 俊文 4期
〒161-0031
西落合1-25-15-301
(3951)9848

幹事長
ひやま 真一 1期
〒169-0075
高田馬場3-23-1
YSKビル601号
(3366)3575

幹事長
おぐら 利彦 2期
〒160-0004
四谷1-3
(3353)9000

団長
桑原 公平 4期
〒160-0023
西新宿8-7-6
(3366)0071



吉住 はるお 1期
〒162-0838
細工町1-8
ウィラK2 302号室
(3260)3104

佐原 たけし 2期
〒169-0051
西早稲田1-18-15
ヴェルハイム
早稲田404
(3207)5721

下村 治生 2期
〒160-0021
歌舞伎町1-23-13
(3200)7181

深沢としさだ 2期
〒161-0032
中落合1-6-13
ニューハイツ
中落合405
(5983)3322

明けましておめでとうござ
います。
昨年十一月の区長選では、われわれ自民党が推薦し、共に戦った中山区長が三選を果たしました。これからは中山区長と力を合わせて、区民の皆様のご期待にそむくことのないよう全力で区政に取り組んでまいります。
景気は依然として回復せず、区の財政もその影響を受け厳

しいものがあります。このような状況下にあつても、これまでの健全財政を更に進めて課題の解決に取り組んで参ります。取り組むべき課題は、高齢化・少子化・教育・商工業・防災・環境対策など数多くあります。
われわれは、これらの施策の実現に本年も全力で取り組んでまいります。

区政チェックの役目を果たし
区民要望実現のために働きます

日本共産党新宿区議会議員団



副幹事長
近藤 なつ子 4期
〒162-0052
戸山1-16-16-310
090(4849)3227

副団長
田中のりひで 5期
〒161-0034
上落合1-1-15-302
(3362)6326

幹事長
沢田 あゆみ 4期
〒169-0051
西早稲田2-19-1
共美ビル101
(3204)4491

団長
阿部 早苗 3期
〒160-0022
新宿7-16-13
(3202)8622



川村のりあき 2期
〒161-0031
西落合1-32-18
090(9330)9004

あざみ 民栄 3期
〒162-0062
市谷加賀町2-6-1
ライジングプラザ
アパートD-302
(3260)1456

雨宮 武彦 5期
〒160-0017
左門町12
ライジングプラザ5A
(3341)0634

新年あけましておめでとう
ございます。
政権交代に期待した分失望感は大きく、政治も経済も、先に希望が見えないと感じる昨今です。高齢者が老後のくらしや介護に不安をもち、新卒者が仕事に就けないなど、どの世代でも厳しさが増しています。
いまこそ区民にもっとも身近にある新宿区政が、不安を

取り除き希望をもたらす役目を果たす時です。幸い区財政は「健全」であり、蓄えてきた570億円の基金を有効に活用して区民の生活を支えなくてはなりません。
今年も、区政をチェックする仕事をしっかりと果たしつつ、待機児童解消から介護サービス充実まで、区民の声を区政に届け、要望実現のために存分に働く決意です。

私たちは地域に根ざし
地域の活性に全力を挙げます

新宿区議会無所属クラブ



副幹事長
のつ たけし 3期
〒161-0033
下落合3-16-15
エタニタワー
目白701
(3954)3573

幹事長
根本 二郎 6期
〒160-0022
新宿1-19-6-503
(3353)8059



えのき 秀隆 4期
〒161-0032
中落合4-6-11
(5983)8811

明けましておめでとうござ
います。
「100年に一度の経済不況」と言われてから数年経ち、世界中が不況と政治的不安定が増しています。
日本も不安定な時代の中にあります。この克服の道は、地域にしっかりと根ざし、地域から再生の道を歩む事であると思えます。

私たち「無所属クラブ」は、中央政府や中央政党の言いなりでなく、「中央集権から地域主権へ」「一人ひとりが主役として生きがいを持つ社会」を目指して歩んでまいりました。今年も新宿区議会無所属クラブは、皆様と共に、地域に根ざし、地域の活性に全力を挙げます。ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

新宿区は「一歩身近な政府」
区民のくらしを守る区政に全力！

社会新宿区議会議員団



団長
山田 敏行 10期
〒160-0015
大京町26
野口ハウス604号
(3341)3074



幹事長
かわの 達男 5期
〒169-0075
高田馬場1-20-10-303
(3208)8340

一人でも出来る
一人だから出来る。
花マルもらせる新宿に
新宿区議会花マルクラブ



なす 雅之 2期
〒162-0851
弁天町87-203
(5261)8315



平成23年 第1回 定例会のお知らせ

★2月21日から3月23日までの予定です。主な日程は、次のとおりです。

本会議 2月21日・24日・25日
3月23日

予算特別委員会 2月28日～3月11日

常任委員会 3月15日・16日

特別委員会 3月17日・18日

★ぜひ傍聴にいらしてください。
★手話通訳者または要約記者の配置もできます。事前に議事事務局(☎5273-3534)までご連絡ください。
★本会議・予算特別委員会は、議会ホームページでインターネット中継(生中継と録画中継)を実施しています。ぜひご利用ください。



議案の概要と審議結果 (賛成...○、反対...×)

○平成22年第4回定例会 (11月24日~12月8日)

会派略称 公明=新宿区議会公明党 自民=自由民主党新宿区議会議員団
共産=日本共産党新宿区議会議員団 民主=民主党新宿区議会議員団
新無ク=新宿区議会無所属クラブ 社会=社会新宿区議会議員団
花マル=新宿区議会花マルクラブ

Table with columns: 議案名, 概要, 公明, 自民, 共産, 民主, 新無ク, 社会, 花マル, 議決. Contains 37 items under '区長提出議案' and 18 items under 'その他'.

平成22年度上半期 政務調査費の収支報告をお知らせします

平成22年度 上半期 政務調査費収支一覧 (平成22年4月~9月) 単位(円)

Table showing income and expenditure for political investigation fees by party and category.

○収入...月額15万円に会派の人数を乗じた金額です。(年度末又は改選の時点で、交付された政務調査費に残額が生じた場合は、区に返還します。)

政務調査費は、次の使途に用いることはできません

- 1 政党活動、後援会活動、選挙運動、あるいは個人の利益のために要する経費としての支出。
2 日当(1日あたりの決まった手当て)としての支出。
3 寄付金、賛助会費等、公職選挙法に抵触するものへの支出。
4 交際費に要する経費への支出。(結婚式の祝い金、香料、見舞金等)

●政務調査費とは 地方自治法に基づき、新宿区政務調査費の交付に関する条例を定めて、議員(会派)が調査研究に使うために必要な経費の一部として、会派に交付される経費のことです。

政務調査費支出項目の説明. Table explaining various expense categories like 調査研究費, 研修費, etc.

平成22年度上半期 議長交際費支出状況を公表します

- 議長交際費とは 議長が議会を代表して各種行事や接遇関係など対外的な活動をするために要する経費です。
●毎月の執行額については 平成17年4月分から区議会ホームページで、ご覧いただけます。

(平成22年4月~平成22年9月) 単位(円)

Table showing the breakdown of speaker's liaison expenses by category and amount.

他都市からの視察・訪問 (平成22年7月~12月) 新宿区には、全国の自治体の議会(委員会・会派・議員)が実施調査のため視察に訪れています。
Table with columns: 視察日, 議会名, 調査内容. Lists visits to various municipalities like 京都市, 大阪市, etc.

区政のこころを問う

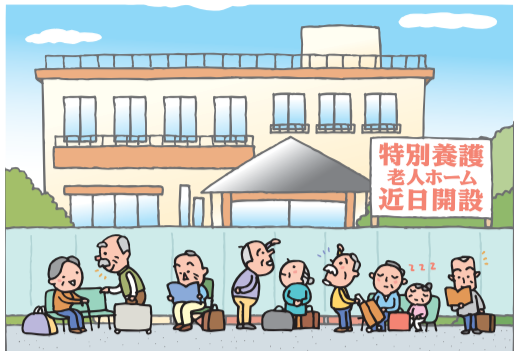
高齢者が安心して暮らせる施策について

日本共産党新宿区議会議員団 代多 夢岡



あざみ 民栄

質問 区民意識調査では「高齢者福祉の充実」への要望が3年間1位であり、割合も増加している。①事業者が介護保険外で宿泊を請け負う事業のあり方をどう考えているか。②区民の申込み実態に比べて特別養護老人ホームを抜本的に増やし、区民が必要な時に入所できるように、あらゆる努力をして建設規模を増やすべき。③これ以上の介護保険料の値上げは容認できず、国や都に公費負担の増額を求め、区も一般財源の投入に踏み切るべき。



特別養護老人ホームの増設を!

答弁 ①要介護高齢者が質の高いサービスを利用できるように実態把握と事業者指導に努める。

②公有地での整備の可能性を検討しつつ、高齢者の住まいという視野に立った整備で福祉・医療・地域の連携による地域包括ケアを積極的に推進する。③これまで国に要望しているが、区一般財源投入は行うべきではない。

保育園の待機児童解消策について

質問 11月の待機児童は246人で、過去10年の同月比で最多。①保育施設全体で受け入れ枠を1000人拡大すれば待機児童は4年後にゼロになるのか。②認可園の増設を第一義的に取り組み、認可外保育施設利用者への保護者負担軽減策を緊急一時的に導入すべき。③待機児童解消の目処が立たない今、戸山第三保育園の廃園は中止すべき。

答弁 ①計画的対応による受入枠拡大で4年後の待機児童ゼロを目指す。②将来的財政負担も考慮しバランスよく対策を推進し、保護者負担軽減策の対象や課題整理を含めて引き続き検討する。③同保育園の計画は、認可保育園の移転拡充であり、新園移行の考えに変わりはない。

少人数学級等について

質問 ①少人数学級の実現のため

め、政府に来年度からの実施を強く要望し都に教員の追加募集を要求すべき。②学校適正配置方針の前提が崩れており、平成4年答申を見直して牛込地区の統廃合計画は白紙に戻すべき。③学校図書館スタッフの充実は計画事業として位置づけるべき。**答弁** ①迅速に実現できるように国や都に要望し、十分な教員配置を都に要望していく。②これ

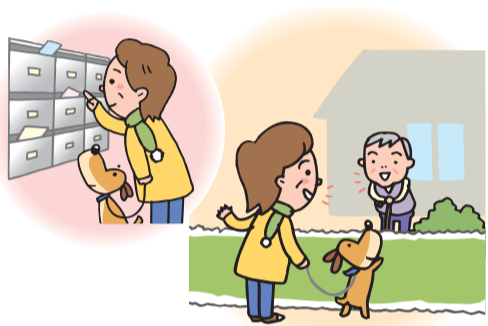
高齢者の見守りについて

民主党新宿区議会議員団 代多 夢岡



すえき 亮

質問 一人暮らし等の高齢者にとって孤独死への不安は大きい。区民と一体になって見守りの体制を整備する必要がある。①介護支援ボランティア・ポイント制度の参加対象者を高齢者だけでなく幅広い年齢層への拡充を。②地域に根ざして活動する事業者等とも見守りの協定を。



普段の生活に高齢者の見守り活動を!

答弁 ①対象者を若い世代まで広げ、様々な世代の人が地域の担い手となることを期待する。②行政や地域住民だけでなく事

までの基本的考え方を踏まえ教育環境の動向も見極めながら検討。牛込地区は統合等検討協議会などで十分に協議する。③学校図書館の運営方法を検証し、第二次実行計画の策定に生かす。この他に、「区長就任にあたっての所信と区政運営」「子ども園」「サブナードの延伸」について質問がありました。

地球温暖化対策について

質問 ①個人住宅用新エネルギー・省エネルギー機器等導入補助金制度等受付後すぐ終了したものには申請の少ないものから予算を移しては。また、配分を見直すべき。②高反射率塗装の補助は屋根または屋上限定だが窓ガラスも補助対象に。区有施設の窓ガラスにもこの塗装を。

答弁 ①昨年度は「太陽光発電システム」等すぐ受付終了したものは補正予算で対応。今年度は前期の執行残額を活用。来年度は2年間の実績を基に予算を調整。②窓ガラスだけでは断熱の効果は期待できない。区有施設には状況に応じ検討する。

こころの健康政策について

質問 ①こころの健康推進のため「こころの健康政策構想会議」が開催され、精神保健医療の諸問題を改革する提言をまとめた。地方自治体に関わる「地域こ

ころの健康推進チーム」の創設や介護者への支援などの提言をどう考えるか。②当事者や家族と連携して、子ども達にもこころの健康について学ぶ機会を。

答弁 ①「健康づくり行動計画」や「障害者計画・障害福祉計画」で精神保健福祉サービス等の総合的な提供に努めている。

この提言を参考に今後も精神保健福祉対策を推進する。②小中学校でこころの健康に関する保健の授業を行い、学級活動の時間にも指導している。この他に、「郵便等投票制度」「外国人住民登録の制度改正」「デジタル時代の教育」について質問がありました。

情報通信技術を活用した行政について

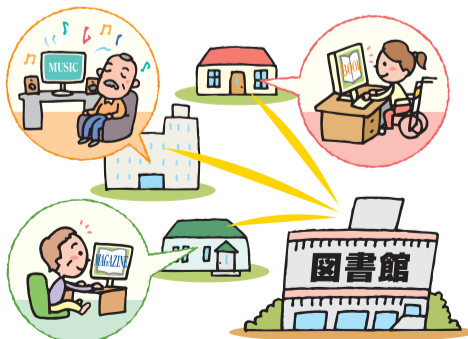
新宿区議会無所属クラブ 代多 夢岡



えのき 秀隆

質問 ①情報化推進に係る人材の育成をどう考えるか。②コンビニでの住民票発行等民間と協力してのICT活用を進めるべき。

答弁 ①区民の利便性を高めるためにICTを有効活用できる職員育成は不可欠。②費用対効果、役割分担を踏まえ検討。**質問** 図書館の運営について。**答弁** WEB図書館の導入を。デジタルネットワーク社



WEB 図書館は24時間365日利用できます

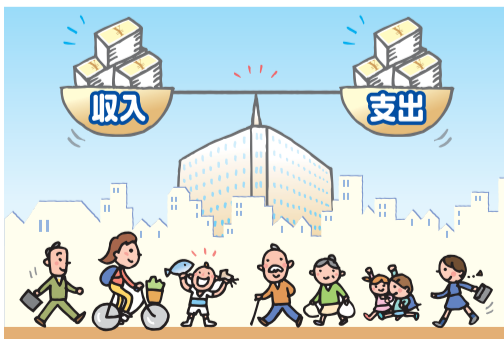
区民に身近な区政の実現を求める

社会新宿区議会議員団 代多 夢岡



かわの 達男

質問 ①今後4年間の財政運営の見通しと、70施策を実行する財源確保など、基本的な財政方針は。②ユニバーサルデザインのまちづくりについてア)どのような組織を、いつ立ち上げるのか。イ)実効性のために条例制定を。③平和施策の概要と決意は。**答弁** ①効果的効率的な行政



きちんと財政方針を示して、区民のための区政運営を!

☆言葉の説明☆

介護支援ボランティア・ポイント制度…現在は区内在住65歳以上の方がいきがいや介護予防のひとつとして参加する高齢者施設でのボランティア活動。1時間1ポイント100円で上限50ポイント(換金が寄付できる)

平成22年度区長マニフェストの進捗

自由民主党新宿区議会議員団 代表質問



宮坂 俊文

運営で財源を確保。②(ア)来年度、推進組織を立ち上げ、庁内組織も

充足。(イ)効果、実効性を検討。③積極的に平和啓発に力を尽くす。

質問 ①「新宿版事業仕分け」をどのように実施するのか。②

区長マニフェストの作成段階での区財政及び財源についての考えは。③マニフェストを実行するため、来年度どのような予算編成をめざすのか。④事業の見直しについての構想は。

答弁 ①区民参加による「区民討議会」方式により事業判定。

②区財政は将来需要への対応力を確保しているが、所要財源を第一次実行計画と24年度以降の実行計画の中で担保。③決算分析と検証を行い、財源の有効活用と重点的効果的な財源配分の徹底。④計画事業の評価の精度を高め、新たな経常事業の評価は、全ての事業を実施。

災害に強い安全なまちづくり

質問 ①建築物の耐震化について(ア)耐震化の進捗状況は。(イ)助成内容等の区民の意見の取り入れは。耐震化を進めるための方策は。②細街路拡幅整備の実績は。今後の取り組みと23年度は。具体的な目標は。③特別出張所の地域本部としての現況と運営体制は。④福祉避難所への避難支援体制と受け入れ体制は。各福祉関係団体との連携は。



災害に備えた安全なまちづくりを!

答弁 ①要望は「中井駅周辺整備計画案」の中に反映。②西武鉄道や東京都などとの協議、調整を経て決定。住民説明会等で説明。③環状6号線の整備終了後、いずれも順調。④設計費は両者が2分の1負担。工事費は自由通路は区が、改札内通路等は西武鉄道が全額負担。⑤ユニバーサルデザインの考え方で進める。

子ども達の体験教育について

質問 ①近隣の子どものためのスポーツ施設の優先的利用は。施設管理は利用者にとって不便を

休日の窓口開庁について

新宿区議会公明党 代表質問



赤羽つや子

質問 ①休日の窓口開庁について、平成24年度本格実施に向け、今後の取り組み方針は。②今後、窓口開設に向けて解決すべき課題は。

答弁 ①10月に立ち上げた庁内検討会で、サービスの効果や課題の整理を行い、23年度中に休日開庁を試行。実施結果の検証を踏まえ、24年度から本格的に実施していく。②コスト増の問題、システム保守等休日に実施している作業とのスケジュール調整、人員配置の検討が必要。

子育て支援について

質問 ①最重要課題である保育園入所待機児童の解消について、1000人の受入れ枠拡大のために、認可、認証のバランスと子ども園化の推進も併せて計画的に推進すべきでは。②新宿第二保育

設計管理は利用者にとって不便をかける対応を。②子どもたちの自然とのふれあい体験と「ふるさと新宿構想」は。③子どもたちの自然体験活動の充実について。

質問 ①最優先と考えている受入れ枠拡大は、平成23年度で300人の拡大、残る700人は、第二次実行計画に位置づけ。今後、認可保育園の定員増で300人増、子ども園では乳児の受入れ枠を300人増、認証の増設、家庭的保育事業で400人の増を目指す。②(ア)西富久地区第一種市街地再開発事業予定地に保育園を移転することを検討。(イ)現在の定員規模を拡充できる面積の確保を要望していく。

高齢者の居住について

質問 ①補正予算の「都市型軽費老人ホーム」の整備事業者の選定について、どのような経過や考え方で推進されたのか。②今後の施設整備はどのようなス

ケジュールで取り組まれるのか。

女性の健康支援について

質問 ①「子宮頸がん予防ワクチン」公費助成の平成23年度実施に向け、どのような準備が進められているか。②新宿区版「女性の健康手帳」の配布対象者や時期は。③(仮称)女性の健康支援センターの機能について。

答弁 ①平成23年4月から接種を受けられるよう準備中。対象年齢は中学1年生から高校1年生を基本とし、公費負担のあり方を検討。②今年度同様に女性手帳をがん検診対象年齢の20歳、30歳、40歳の全ての女性区民に受診票と併せて送付。また女性の健康週間イベント、地域センターまわりの場で配布。③女性特有の様々な健康課題に応じた専門相談事業として充実させて

公平・中立な区政運営を

新宿区議会花マルクラブ 代表質問



なす 雅之

質問 区長は、①区政運営で、すべての党派・区議会議員に公平・中立に対応することを表明



実効性のある自治基本条例に!



「子宮頸がん予防ワクチン」23年4月から新宿区で接種スタート!

すべき。②自治基本条例制定後は、議員を選挙の際、推薦すべきではなく、選挙目当ての議員の個別集会については、出席を要請されたとしても断るべき。

一般質問

答弁 ①良好な緊張関係を保ち、区民のための区政を推進する責任を分担していく。②区政の基本的課題に対する姿勢が同じ方向にある方に応えたい。



共産 雨宮 武彦

公衆浴場対策について

質問 ①ふれあい入浴証の利用回数増と引受額の増を。②公衆浴場設備補助金の増額と返還時の減免措置を。③渋谷区でふ

れあい入浴証を使えるようにすべき。④他区実態を調査し、公設民営の公衆浴場設置の検討を。
答弁 ①現在の回数・料金で実施。②件数等を改善。返還の特例的措置を今後検討。③区境の渋谷区浴場と協議中。④現行補助制度活用を基本に支援する。生委員と行政の個人情報共有を。



民主 小野きみ子

不幸な高齢者をなくすために

質問 ①独居高齢者の事故や死後の支援を。②高齢者総合相談センター改称後の実績は。③デイサービスメニューの再検討を。④民

守る取り組みを充実。②今年度127件と44%増。③ガイドブック等で周知。④審議会に諮り提供。その他、「タヌキの森の今後」について質問がありました。



新無ク 根本 二郎

富久地域のまちづくりについて

質問 ①西富久地区再開発事業に全面支援を。②ア環状4号線の事業計画の地元への説明は。③高低差など施行上問題がある。

都に完成予想図を開示させよ。
答弁 ①平成21年再開発組合設立、来年度権利変換計画認可に向け合意形成中。区は組合を支援、都等とは協議、調整する。②ア説明会を開催。富久地区まちづくり協議会の部会でも都が説明。イ都に強く要請する。



社会 山田 敏行

事務事業仕分けの実施を

質問 ①事業仕分けする事業の内容や件数についても、透明性が十分に保障される手法を取るべき。新宿区の事業仕分けにつ

いての構想は。②事業仕分けを実施するなら、経常事業こそが重要である。区の考え方は。
答弁 ①無作為抽出した区民参加の「区民討議会」方式により事業判定を行う。②経常事業も年次を追って事業評価を行い、結果を見て仕分けについて検討。



自民 下村 治生

大久保通りの歩行者、居住者環境の整備と多文化共生について

質問 ①最近の大久保通りの歩道混雑に伴い、72号線で計画の新横断歩道の先行設置を。②大

久保地区の深夜の騒音への今後の取り組みは。③課題解決のために多文化共生相談員の設置を。
答弁 ①難しいが努力。②繁華街騒音パトロールの地域に含めるとも連携し、課題解決に努力。



公明 中村しんいち

安全な自転車利用の促進について

質問 ①走行中の自転車利用者のルール違反やマナーの悪さを是正し、安全走行を呼びかける指導員の導入を。②大久保通り

の医療センターから生協前までを結ぶ坂のある歩道で、自転車から歩行者を守るための走行空間の整備を。
答弁 ①自転車等整理員を活用し、自転車利用のルールを守るよう、呼びかけ等の啓発を行う。②東京都や警察などと検討する。



共産 阿部 早苗

ことぶき館について

質問 ①廃止表明した戸山ことぶき館の風呂は存続すべき。②信濃町は風呂を残し、戸山はなくすが、基準は何か。

から風呂は他用途に。②信濃町は風呂があっても機能発揮できるから存続。今後も①の方針どおり機能転換する際は廃止する。の設置を要望すべき。③区役所や福祉施設周辺での設置を。
答弁 ①視覚障害者施設周辺の24の交差点や横断部に55箇所。②エスコートゾーンのある交差点では一部を除き併設。③利用者の意見を踏まえ、施設周辺の整備を警視庁に働きかける。



民主 おのけん一郎

エスコートゾーンについて

質問 ①区内のエスコートゾーン(横断歩道上の点字ブロック)の整備状況は。②安全を確実にする音響つき信号機とセットで

給食委託業者にも指導を。②アレルギーの事故等回避のためどのようにアドバイスをするか。
答弁 ①医師の指示により学校全体で取り組む仕組みが出来た。イ事業者選定段階で対応可能か審査。②各保健センターでは検診、相談等で情報提供。



新無ク のづたけし

子どものアレルギー対策について

質問 ①アレルギーを持つ子供が増加し、区でも国の学校向けアレルギー疾患取り組みガイドラインを導入したが成果は。イ



自民 ひやま真一

高田馬場駅周辺整備と周辺地域の活性化について

質問 ①地域活性化が図れる整備を。②災害時に配慮した広場の整備を。駅前広場とは。③戸山口

についてア東西通路の西武側の美装化の現状は。イ東側通路等の進捗状況は。ウ協議会のリードは。
答弁 ①整備手法を検討。②整備内容を検討。ロータリー部分。③アJR部分に準じた仕様、雨水は改善申入れ。イ雨よけやバリアフリー化は協議中。ウ全力で支援。



公明 野もとあきとし

人にやさしい多文化共生のまちづくりについて

質問 ①どんな多文化共生のまちを目指しているのか。②学校の日本語サポート指導の充実は。③多様性を尊重し文化

的違いを認め合い協力して生活。地域のトラブルを防ぐため日本語学習を充実し、守るべきルールとマナーを周知しお互いに顔の見える関係を築き、理解しあえるまち新宿をつくる。②各教科の指導に結びつけるための方策を日本語学級設置も含め検討。

議員研修会を開催

テーマ「新宿の森への誘い」伊那、あきる野を結んで

11月22日に、新宿区環境清掃部環境対策課の木村純一課長を招いて、「新宿の森への誘い」伊那、沼田、あきる野を結んで」について、議員研修会を開催しました。講師は、環境対策課長として、地球温暖化対策、省エネ活動、ISOなどの環境問題に取り組まれています。講演では、はじめに、新宿区では地球温暖化対策・ヒートアイランド対策を強化して、区内のCO₂排出量削減に向けてさまざまな取り組みを進めていることを説明されました。その中でも、新宿区外の森林保全で増加したCO₂吸収量を区内のCO₂排出量から相殺する「カーボン・オフセット」の仕組みづくりに重点的に取り組んでいることを強調されました。「カーボン・オフセット」の具体的な事例として、伊那市

では、森林保全、間伐材の有効活用、環境学習などの活動を、沼田市とあきる野市では、植林を通じた「カーボン・オフセット」の取組みを紹介され、熱意あふれる講演を締めくくりました。参加した議員にとって、新宿の森について、これまで以上に関心を持ち、理解を深めるよい機会となりました。



委員会の動き

新宿区職員の宣誓に関する条例の一部を改正する条例などを審査

総務区民委員会

●今定例会では、議案19件、陳情12件を審査しました。
 ●区長提出議案は質疑の上、全員賛成で可決されました。「新宿区職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例」については「区職員の意識改革をするうえで自治基本条例を遵守の宣誓をすることは意義がある」との意見がありました。
 「公の施設の指定管理者の指定について」(コスミックスポーツセンター)は、「収益があがっているため、利用料の引き下げ等で区民・利用者還元すべき」との意見が出されました。

「都市型軽費老人ホーム」の事業者選定予算などを可決

福祉健康委員会

●審査した条例は、3つの区立保育園を廃止するための区立保育所条例の一部改正条例の1件でした。北新宿第一保育園廃止後に分園方式の「子ども園」となるが、やり方が拙速等の理由で1会派が反対しましたが、賛成多数で可決しました。福祉施設の指定管理者指定の案件が5件あり、いずれも全会派賛成で承認されました。2つの障害者施設と富久町保育園は、公募せず今ままで同じ事業者が選定されたことが特徴です。

地球環境保護のために

あきる野市との連携

環境建設委員会

●今定例会では、「新宿区立リサイクル活動センター条例」と「新宿区中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」の一部改正、特別区道の路線の認定3件について全員が賛成し、原案通り可決しました。
 ●その他、WEバスの運行計画の変更や、「区民ふれあいの森」

●10月27日に、あきる野市「新宿の森」の視察を行いました。あきる野市とは、地球環境保全のための連携に関する協定を締結しています。現地では植栽予定地を視察しましたが、実際にあきる野市の自然にふれることで、地球温暖化防止に寄与する森林保全活動に興味をわきました。来年には、植林を行うイベントを開催する予定です。多くの区民、特にこれからの未来を担う子どもたちには自然体験学習の場にもなりますので、ぜひ参加してもらいたいと思います。



あきる野市「新宿の森」

「子ども園条例」の整備と鶴巻・西落合図書館の指定管理者が決定！

文教委員会

●今定例会では、柏木幼稚園と西新宿幼稚園が子ども園となるため、幼稚園条例の改正があり、それに伴い、子ども園条例の本格的な整備の議案の審査をしました。また、鶴巻・西落合図書館の指定管理者が決定しました。4件の議案は賛成多数で可決されました。



かどうか等、活発な質疑がありました。

自転車の定期利用の区分が増えました

防災等安全対策特別委員会

●今定例会では、議案を1件、地方都市視察のまとめ、区から宿区自転車等の適正利用の推進及び自転車等駐輪場の整備に関する条例の一部改正では、現在の定期利用区分1ヶ月、3ヶ月に加え、6ヶ月、1年の料金が設定されます。また、区内3ヶ所にコイン投入型の駐輪場が新設されます。来年度から使用料の振り込みが可能になることもあり、区内自転車の利便性が向上することから、全会一致で賛成しました。



東電柏崎刈羽原子力発電所

レンタル自転車社会実験と中越沖地震の復興を視察
 10月20日から22日まで、金沢市と柏崎市を視察しました。自転車利用の社会実験を視察するため、金沢市を訪れました。利用形態や運営上の課題について質疑を行ったあと、サイクルポートの現場を視察しました。柏崎市では震災対策として「自助」「共助」「公助」のほか「互助」と「近助」が重要

であることを聞きました。その後、被害の大きかった、えんま通り商店街と震災時に情報提供で力を発揮したミニFM局を視察しました。また、東電柏崎刈羽原子力発電所では、震災によって運転停止した発電所がどのように安全に運転を再開したのか説明を受け、バス車中からテロ対策の厳しい発電所施設を視察しました。

自治基本条例地域報告会の中間のまとめをしました

自治・地方分権特別委員会

●10月14日の第3回定例会で成立した「新宿区自治基本条例」についての地域報告会が11月17日から18日にかけて10会場で開催されました。

●11月25日には、「新宿区自治基本条例」の区広報特集号も出され、区民への周知は進むこと、また、各委員がお知り合いに声をかける努力をするなどとして、12月9日から再開される後半の7会場について、より取り組みを強めることを確認しました。

「平成22年度、外部評価実施結果報告」を受け質疑

議会・行政改革特別委員会

●平成22年度外部評価実施結果及び「経常事業の評価手法」の答申の報告を受けて質疑しました。「今回の外部評価では、例えば補助事業では、18事業が抜本的見直し・検証を行うべきもの、9事業が廃止の方向で検討するべきもの、厳しき指摘を受けていますが担当課はどう受け止めるか、どう改善しようとしているのか」「事業仕分けと区長のマニフェストと区の方針との関係は何か」「事業を選択する、透明性を高める上から外部評価の役割は重要である」「事業仕分けの最大の理由は、財政が厳しくなっており歳出をどう少なくするかであるか」と思ふ」「外部評価委員会で評価をしているのだから、事業仕分けは必要無いのではないか」「区民のための事業に次の年度にどう予算化するかが大切」「内部評価と外部評価の違いが多くみられる」「経常事業数450事業の外部評価をす

るとのことであるが、物理的に難しいのではないかと質疑されました。

地方都市視察報告

●平成22年10月20日、22日に静岡県浜松市と兵庫県養父市の各市議会の視察をしました。
 ・調査テーマ
 浜松市：資産経営推進方針について
 養父市：議会基本条例について
 10月20日の浜松市視察では、最初に「資産経営推進方針」について説明を受けました。浜松市は平成17年に12市町村が合併し、膨大な土地や建物などの財産を保有したものを、どう市民のために活用し、効率的な施設運営をするか検討し、「資産経営推進方針」を平成21年4月に作成し、実施しているとの報告を受けました。報告の後、「評価は職員だけ

で行っているのか、市民の参加はどうか」「市政運営会議はどのようなメンバーでどのように運営されているのか」「施設の長寿化や費用対効果についてどのように検討してきたのか」などの質疑を行いました。10月21日養父市の視察では、議員手づくりの議会基本条例として取り組まれた、北尾行雄、水野雅広議員より、制定までの経過と特徴「議会に対する市民アンケート、議会報告会、各種団体との意見交換、パブリックコメント等取り組み」について説明を受けました。平成22年3月定例会で全会派一致で可決し、4月より実施されました。



浜松市役所

皆様から託された 請願・陳情の審査結果

●請願・陳情の内容は区議会ホームページをご覧ください。
 ●撤回が承認されたもの 1件
 ●福祉健康委員会
 ●新施設建設に係る陳情

●継続審査となったもの 72件
 ●環境建設委員会
 ●「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める陳情

●審議未了となったもの 1件
 ●福祉健康委員会
 ●(仮称)矢来町特別養護老人ホームに関する陳情

あとがき

●明けましておめでとうございます。今年も区議会の情報をお知らせし、健康をお祈り申し上げます。今年も区議会の情報をお知らせし、健康をお祈り申し上げます。今年も区議会の情報をお知らせし、健康をお祈り申し上げます。

- 編集委員 深沢としさだ
- 小松 政子
- 有馬としろう
- 佐原 たけし
- 沢田 あゆみ
- 小野 きみ子
- 根本 二郎